

修学支援調査に寄せられた意見等への主な対応状況

平成30年度に実施した修学支援調査において、多くのご意見、要望等をいただきました。これらについて、令和元年12月時点での大学の対応状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

事項	意見等	対応状況
施設・設備・学生寮	講義棟(品川キャンパス)の清掃、メンテナンスの充実	日常清掃の委託業者に対する監督、指導を強化しています。また、クレームの多い施設については、スポット清掃で重点的に対応するようにしました。
	キャンパス全体の清掃強化(品川・越中島キャンパス)	
	トイレの清掃強化(品川キャンパス)	
	トイレの整備・洋式化等	平成29～令和3年度修繕執行計画書(施設計画委員会)において、トイレ改修を重点事項の一つに掲げ年次執行計画を策定しており、これに基づき整備を進めています。
	講義棟(品川キャンパス)の各教室空調設備の改善	平成30年度に空調工事が完了しました。
	部室棟(品川キャンパス)の整備・増設	平成30年度に新設プレハブ棟が完成し、令和元年5月末に移設しました。
	学生寮の選考基準の緩和、明確化、案内の改善等	平成28年度に選考基準の見直しを行い、手続きの簡素化及び明確化を図っています。案内についても早期に周知しています。
教育	海外交流機会の拡大(越中島キャンパス)	海洋工学部において新たな科目「長期学外実習/短期学外実習」を設置し、海外派遣プログラムを増やしています。また、従来よりシンガポール海事アカデミー海事探検キャンプやIAMU学生プログラムへの学生派遣を行っています。
	留学への情報提供の充実 留学プログラム及び留学支援の充実	要望がありました「語学留学プログラム」は行っていないが、語学学習支援(TOEIC受験支援、英語学習アドバイザーの配置等)を行っています。海洋工学部の短期学外実習(海外インターンシップ)や海洋資源環境学部のキャリア実習、オケアヌスプログラム等、近年留学プログラムを充実させています。また、協定校を増やしている他、JASSO海外留学支援制度奨学金による経済支援、海外渡航安全ガイドブックの作成や海外旅行保険加入支援等も行っています。
		海洋工学部、海洋資源環境学部では近年新たな短期海外派遣プログラムを開始しています。大学院生だけでなく学部生への経済支援を充実して欲しいという意見については、ほとんどの留学支援の奨学金は学部・大学院の区別なく応募が可能となっています。留年せずに留学できるプログラムが少ないとの相談につきまちは、引き続き検討していきたいと考えています。留学情報が品川キャンパスに偏っているという意見については、平成29年度から留学説明会を遠隔講義システムを利用して実施し、越中島キャンパスからも参加できるように改善しました。この他、日本人学生と留学生の交流の機会として、国際交流懇談会(旧留学生懇談会)を品川、越中島両キャンパス交互で実施しています。
	教員免許状(中等)の取得できる単位(授業)の開講	平成29年度改組により設置された海洋資源環境学部は、中学理科の課程として文部科学省より認可されました。なお、海洋科学部、及び同じく成29年度改組により設置された海洋生命科学部は、中学免許の課程はありません。
	英語授業の充実(越中島キャンパス)	ネイティブ教員による英会話の授業、「Interactive English III・IV」を今年度から新設しています。
	授業科目の充実等(越中島キャンパス)	海外インターンシップに関する授業をこれまでの2科目から4科目に増設しています。
	授業評価に対する対応の明確化	学生による授業評価のアンケート結果をより、有効に活かせるようにするためのアンケート調査を平成30年度に教員に対して実施しました。
教授法等に対する要望	大学院授業での教育方法改善については、大学院FD研修会の開催、アクティブラーニング実施状況調査の活用などを通じて取り組んでいますが、今年度も引き続き実施していきます。	

事項	意見等	対応状況
	講義情報(休講等)及び成績開示などのネット対応	教務システムを利用することで可能ですが、敢えて掲示している情報もあります。
	経済支援策の充実	経済支援給付制度などの他、大学の目標である海洋分野の公的機関で活躍する者を増やすことを目的とした学業優秀学生奨学金制度があります。
	就職支援窓口担当職員の充実	キャリア支援センターを新設し、キャリアアドバイザーを増員しており、相談窓口を一本化して専門的なアドバイスを行う体制の整備を行い、就職支援の充実を図っています。
	就職情報の充実	企業等の採用活動の早期化に対応するため、企業セミナーの実施の前倒しや内容の充実を図るなどして、就職情報の充実を図っています。
	窓口の改善 事務対応の改善	係内、課内の情報共有を行い、必要、十分かつ丁寧な対応を心掛けています。
窓口対応	留学生への適切なサービス グローバル化対策の充実	<p>「留学生コミュニティ」、「宿舎の充実」、「奨学金の充実」、「キャンパス環境の英語化(主に履修システム、職員の対応)等」、「留学生受入れ体制」、「留学生の銀行口座開設支援」に関する要望が寄せられており、対応状況は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生コミュニティ:全学生対象の校友会はあるが、留学生のみのコミュニティは大学として設置していません(留学生の自主性に任せています)。 ・宿舎の充実:海王寮と朋鷹寮の留学生枠は、日本人と留学生の在籍割合に基づき、学生支援委員会で決定されたものです。これ以上の増加は日本人学生への影響が大きいため難しいと考えられます。留学生向けには、品川国際交流会館、越中島国際交流会館(研究者用宿舎)の一部、借上寮も用意されています。さらに、今後に向けた混住型新寮設置の検討も行われています。 ・奨学金の充実:残念ながら、外部団体からの奨学金の募集人数に限りがあり、奨学金の増加は難しい状況です。 ・キャンパス環境の英語化:履修システムの表示は日本語だが、ウェブサイト入力の説明資料の英語化することで対応している。また、2016年度から全学委員会経費により、学内文書、アナウンスの英語化を実施しています。大学院では講義の英語化を行っています。また、全学委員会予算で学内文書の翻訳を行っています。 ・留学生受入れ体制:「留学生向けの掲示、通知共に英語化を推進」「借上寮の導入を始めとする住環境の整備」「大学院における授業の英語化」「国際交流を推進する組織体制の強化(例:国際経験豊かな職員の養成、国際交流のための専門性の高いスタッフの確保)」等により体制整備を行っています。 ・銀行口座開設支援:新入留学生全員にチューターを配置し、口座開設支援を行っています。
	大学祭や自治会への大学の協力の充実	大学祭実行委員会等とは綿密に対応を行っています。
その他	ハラスメント等の意識改革	ハラスメント相談員向け研修を実施し相談員のスキルアップを図るとともに、ハラスメント等の防止等に関する規則を一部改正し、相談体制を整備しました。また、教職員向けにハラスメント防止のための講演会を実施し、学内のハラスメントに対する意識改革を図っています。
	喫煙場所	受動喫煙防止対策について、両地区事業場職員安全衛生委員会において審議を行い、①喫煙場所の縮小・変更、②学内禁煙の周知を行っています。
	研究室業務の負担軽減	研究室の事務補佐員の雇用については教員の裁量の範囲ですが、大学ではそれに資するべく学長裁量経費や研究推進等経費等において、教員の研究経費の支援を行っています。また、研究推進委員会において、優れた研究業績を有する若手研究者(PD)の支援を実施しています。
	適正な研究業績表彰制度	研究推進委員会において、優れた研究業績を有する若手研究者(PD)の支援を実施しています。
	研究機器等の充実	機器の購入は使用する教員の裁量で行われていますが、大学ではそれに資するべく学長裁量経費や研究推進等経費等において、教員の研究経費の支援を行っています。